

ブースターの存在

3年生が部活動を引退した後、部長さんを中心に2年生と1年生が協力しながら活動を続けてきました。大会やコンクールなどは、これまでの成果を試す絶好の機会です。夏休み中には、吹奏楽のコンクールが行われ、本校の吹奏楽部は見事、金賞を獲得しました。すばらしい演奏でした。新人体育大会熊谷市予選会が、来週火曜日の陸上競技の大会で幕をあけます。先ほどは、各部の部長さんが意気込みを発表したところです。どの部からも頑張ろう、全力を尽くそうという強い思いが伝わってきます。

今年の夏は、世界的なスポーツの大会が開催されました。7月の世界水泳。8月上旬には女子サッカーのワールドカップ。ベスト8に進出したなでしこジャパンが躍動しました。8月中旬から下旬にかけて世界陸上。つい先日は、男子バスケットボールワールドカップの試合が沖縄で開催されたところです。日本代表はトータルで3勝をあげ、パリ五輪出場権を獲得しました。全ての試合を観戦しました。多くの感動をいただきました。

サッカーの場合は、チームを応援する方々のことを、ファンではなくサポーターと呼ぶことはすっかり定着したようです。バスケットでも、ワールドアップの沖縄アリーナのように、試合会場が多く応援で埋め尽くされている映像を見ることができます。バスケットの場合は、そのような人をサポーターとは表現しません。「ブースター」と表現します。

ブースターとは、そのまま訳せば、「押し上げるもの」という意味になります。それだとイメージが湧きづらいです。ロケットが宇宙に飛び出す場面を思い浮かべてください。発射台から飛び出したロケットが、ある程度の高さに到達し、軌道にのると切り離されるエンジン（補助推進装置）があります。あれをブースターというのだそうです。

そのことなどから考えると、バスケットのブースターとは、選手やチームを支え、後押しをしてくれる存在のことなのだと思います。

皆さんにも、皆さんのチームにも、ブースターの存在があるはずです。大きな大会に臨む皆さんが、ここまで練習に打ち込めたのも、苦しい時をどうにか乗り越えてこられたのも、一緒に喜び、うれしさを2倍3倍にしてくれたのも、ブースターでもある、クラスや学年の仲間、身近な家族や顧問の先生のおかげさまでもあります。感謝の気持ちをもって大会に臨んでください。どの部にもブースターが付いています。しっかり後押しをしてくれるはずです。自信をもって、堂々と試合に臨んでほしいと願っています。

私も、大会当日、できるかぎり多くの試合会場をまわり皆さんを応援します。皆さんのそれぞれの立場での活躍、頑張りを期待します。